第 4 章　基本施策の展開

1　基本方針と施策の展開

基本理念	基本方針
スポーツでみんなが輝（かがや）き　煌（きら）めきを増（ま）す Active City Ishinomaki	**1** **市民の多様な** **アクティブライフスタイルの推進**
	2 **絆とつながりのアクティベーションによる** **地域活性化の実現**
	3 **みんなのアクティブチャレンジで** **新たな賑わいの創造**

基本施策	取組	
1-1　スポーツを「みる」楽しみの醸成	・スポーツ観戦機会の充実 ・スポーツ観戦の楽しさの普及	
1-2　スポーツを「する」楽しみの醸成	・日常生活における運動習慣定着化の推進 ・健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援	
1-3　子どもたちのスポーツの推進	・スポーツ教室、各種イベントの継続 ・子どもの遊ぶ機会の創出による身体づくりと体力、運動能力向上の推進 ・学校体育と運動部活動の充実	・スポーツボランティアの充実 ・スポーツ少年団活動の推進と指導者や団体への支援 ・スポーツ活動機会の創出
1-4　多様なライフスタイルにおける気軽なスポーツ参加への意識醸成	・スポーツ活動、観戦、サポート機会の創出 ・スポーツボランティアの育成と活用	・健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】 ・スポーツ施設サービスの充実
1-5　高齢者・障害者のスポーツの推進	・健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】 ・身体活動や食事など健康づくりに関する情報の充実	・パラスポーツの推進 ・障害者スポーツのボランティア育成
1-6　スポーツに親しむ環境の整備	・施設の効果的・効率的な管理運営の推進 ・石巻市スポーツ協会加盟団体への育成支援 ・表彰制度の充実	・スポーツ推進委員の資質向上への支援 ・企業、大学等に蓄積された人材やスポーツ施設を活用するための連携・協働の推進
2-1　様々な競技種目の認知度の充実	・健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】 ・多様なスポーツの普及啓発	・スポーツイベントの情報発信
2-2　各種競技団体の交流の推進	・スポーツを通した地域活性化に向けての大学の教育資源の活用 ・石巻市スポーツ協会との連携	
2-3　プロスポーツチームやトップアスリートとの交流の推進	・プロスポーツチーム等とスポーツ団体との連携	
2-4　スポーツを通じた共生社会の実現	・障害の有無に関わらないスポーツ交流の推進 ・スポーツによる世代間交流の促進 ・スポーツを通じた多文化共生の普及	
3-1　スポーツ合宿の誘致	・スポーツ合宿の誘致 ・合宿受入環境の情報発信	
3-2　全国大会等イベントの誘致	・各種スポーツ大会の誘致 ・大規模大会の継続開催	・スポーツボランティアの育成と活用【再掲】
3-3　スポーツツーリズムの推進	・スポーツツーリズムコンテンツの創出 ・全国規模のスポーツ大会の誘致による地域の活性化	・スポーツの情報発信と観光との連携
3-4　アスリートの育成	・スポーツ大会参加の推進 ・アスリートを支える体制の確立	・スポーツ障害予防の推進 ・競技活動を支える施設の整備
3-5　指導者の育成	・優れた指導力を持った指導者の養成・確保 ・地域のスポーツ指導者との連携	・スポーツの情報ネットワークの整備と充実

1　基本方針と施策の展開

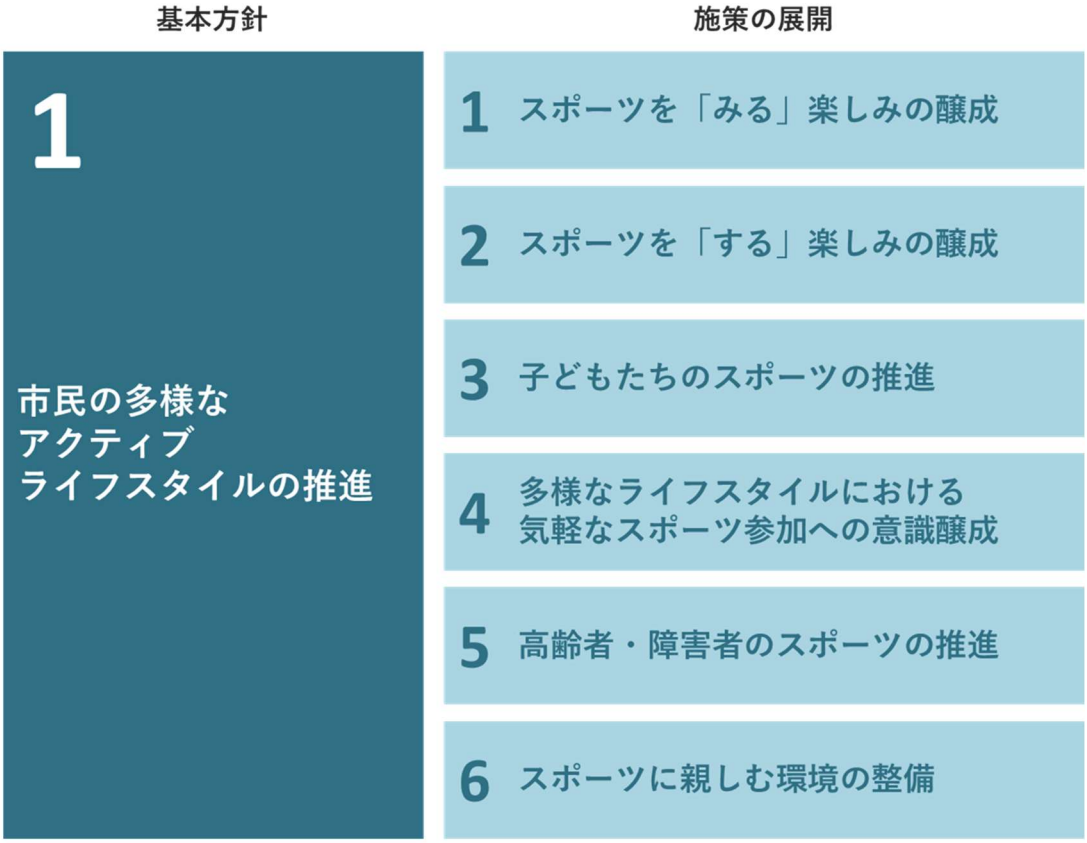
（1）市民の多様なアクティブライフスタイルの推進

市民の多様なアクティブライフスタイルを推進するために、スポーツのきっかけづくりとして、「みる」・「する」ことの楽しみを醸成します。

また、県の計画を参酌し、子どもを重点ターゲットとしつつ、成人から高齢者まで、性別、国籍や障害の有無等を問わない多様なライフスタイルに応じたスポーツ参加を促進します。

あわせて、国における「場づくり」の政策を参酌し、スポーツ活動の基盤となる環境づくりに取り組みます。

図表 31　基本方針 1 に紐づく基本施策

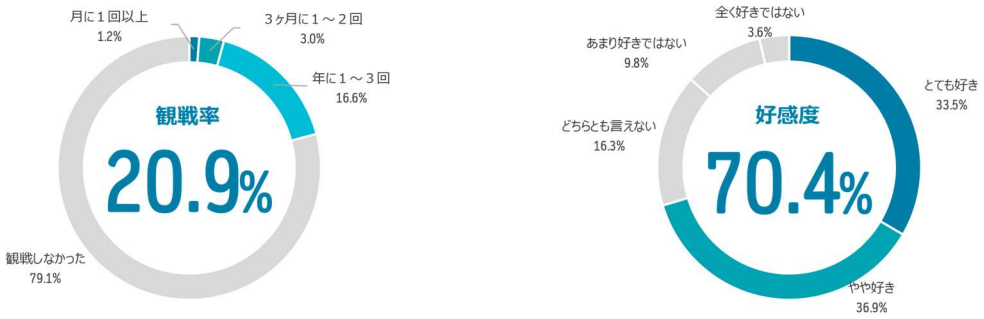


基本施策１-１　スポーツを「みる」楽しみの醸成

本市では、スポーツ実施のきっかけ・導入として、まずはスポーツが人々の目に触れ、知ってもらう段階を充実させることが有効であると考えています。

本市におけるスポーツ観戦の実態をみると、スポーツ観戦が好きな割合は約７割であるのに対し、実際の観戦率は約２割程度となっています。特に市内での観戦は約３％に留まっていることから、スポーツを「みる」楽しみを醸成し、市民の関心を惹きつけます。

図表 32　スポーツ観戦実態と好意（再掲）



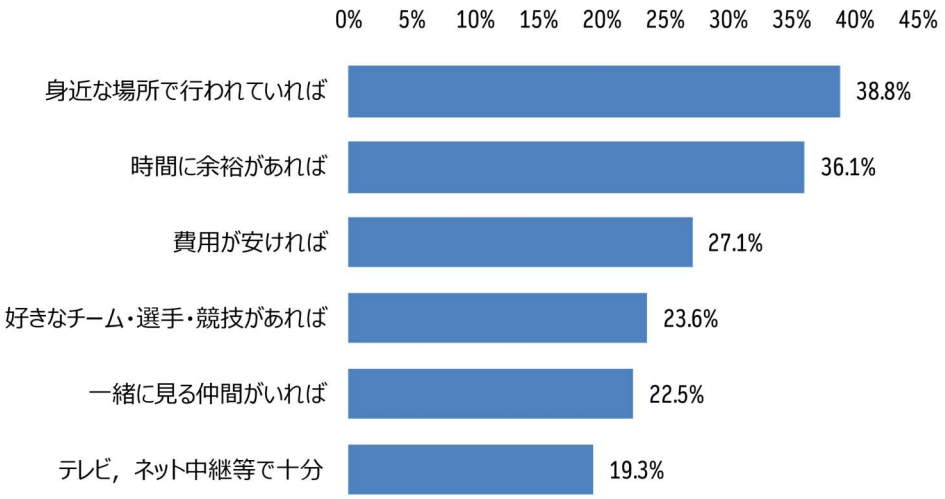
出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

図表 33　スポーツ観戦についてのアンケート結果

出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

スポーツ観戦の条件として、会場までのアクセスや時間、費用の余裕が上位に挙がっていることから、「楽しさ」の他に、身近さや手軽さを兼ね備えている必要があります。

図表 34　スポーツ観戦についてのアンケート結果



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

これらの現状を踏まえ、引き続きプロスポーツ等の観戦機会の充実を図るとともに、観戦の楽しさを伝えるための取組や、気軽にスポーツ観戦に足を運べる、運びたくなる仕組みづくりを進めます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツ観戦機会の充実	・プロスポーツを始めとする様々なスポーツの観戦機会創出による、スポーツ活動に親しむきっかけづくり ・プロスポーツチームとの連携協定に基づく市民無料招待試合の実施による、スポーツに対する関心度の向上
スポーツ観戦の楽しさの普及	・様々なスポーツ競技のルールや楽しみ方を紹介し、スポーツの魅力を発信 ・プロスポーツチームと連携したスポーツイベントの開催による、スポーツ活動を実施する楽しさの醸成

基本施策１-２　スポーツを「する」楽しみの醸成

本市のスポーツ実施率は高い状況にありますが、今後、国や県が目指す水準に近づけていくためには、より実施率を向上させていくことが必要であり、「スポーツはしているが、不定期である」層の習慣化支援が効果的です。

本市は、スポーツをするきっかけとしてスポーツを「みる」ことに力を入れますが、例えば Ｊ リーグを観たからといって必ずしもサッカーをするきっかけにはならないことから、まずはスポーツ全体に対する関心を軽度な身体活動などで自身のスポーツ実施への一歩につなげていくことを目指します。

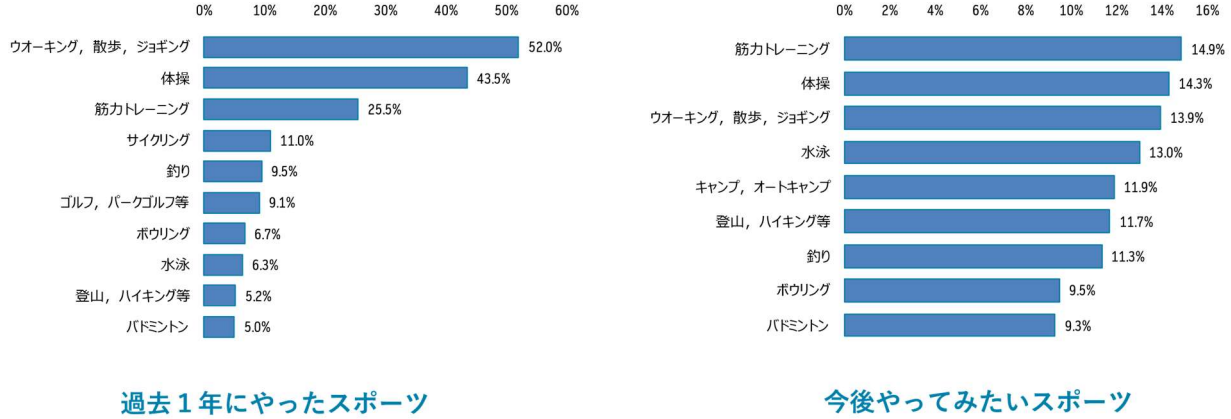
したがって、近年徐々に認知度や人気を高めているアルティメットやドッチビー、モルック等のニュースポーツのように気軽に楽しめる競技があることや、スポーツは競技性の高いものだけでなく、気軽に取り組めるものもあるということを周知することにより、実施するまでのハードルを下げ、スポーツ実施率向上の底上げを図ります。

図表 35　スポーツの実行段階割合【再掲】

出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

過去１年間に実施したスポーツを種目別にみると、散歩や体操、筋力トレーニング等、道具を必要としないスポーツの実施率が高い一方で、今後やってみたいスポーツでは、アウトドア関連のニーズが高い傾向があります。コロナ禍において人気の高まったアウトドアですが、全国でも人気な長距離歩道「みちのく潮風トレイル」のコースを有する自然豊かな本市では、今後もスポーツへの誘導要素の一つとして期待できます。

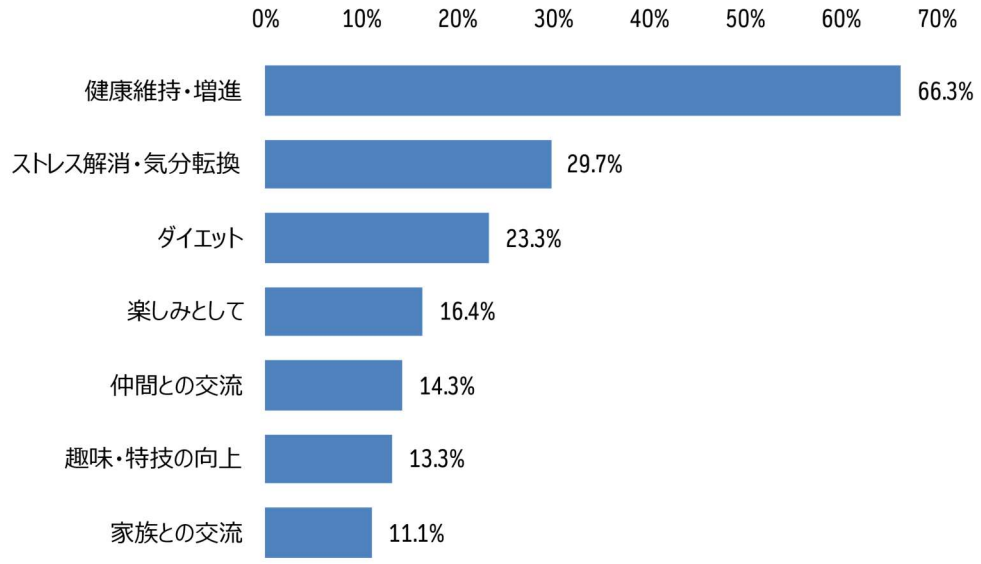
図表 36　過去１年間に実施したスポーツ　今後実施してみたいスポーツのアンケート結果



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興）

スポーツ実施の動機としては、健康維持・増進が最も多い状況です。本県の肥満割合等の健康状況が芳しくないことを鑑みても、健康を目的としたスポーツへの誘導や、健康効果が期待できる運動機会の提供が必要です。

図表 37　スポーツの動機



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
日常生活における運動習慣定着化の推進	・多様なライフスタイルに対するスポーツ活動を普及啓発することによる運動習慣の定着化 ・余暇時間等を活用して気軽に実施できるスポーツを紹介し、運動機会の創出 ・運動能力を把握するために体力測定会の開催
健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援	・スポーツ関係団体が開催するスポーツイベント及びスポーツ教室の支援による地域交流の促進 ・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、スポーツ活動に対する楽しさの醸成 ・スポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、様々なスポーツを実施することによる会員数の増加 ・健康づくり教室及び健康体操教室の開催による運動習慣の定着化

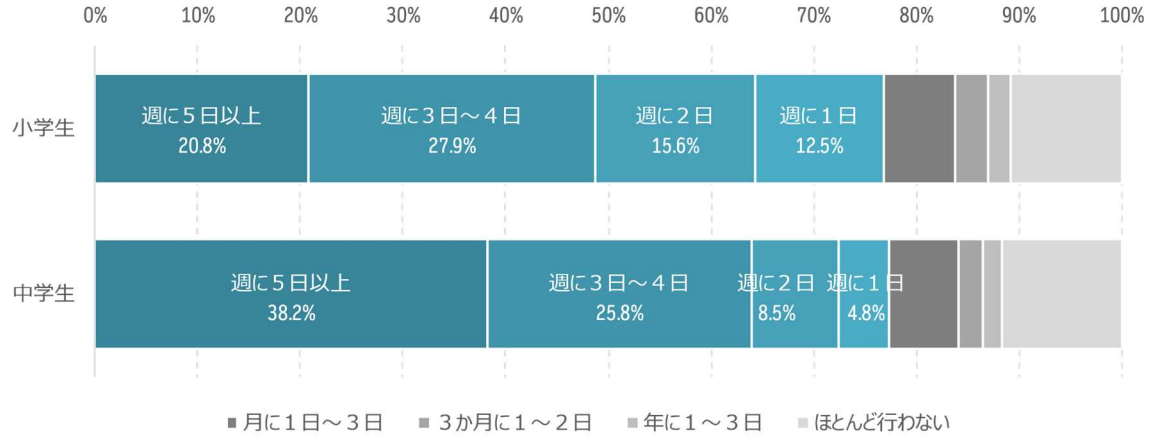
基本施策１-３　子どもたちのスポーツの推進

各世代におけるスポーツ実施の課題は、ライフステージでの習慣に起因するケースが多くあると考えられ、このことを突き詰めると、低年齢層をターゲットとした施策が中長期的には最も効果的であると考えられます。

また、本市の子どもたちの学校体育以外でのスポーツ実施率については、定期的に活動している子どもたちもいますが、一方で、活動頻度が少ない子どもたちも一定数いることから、スポーツに親しむ機会を更に提供していくことが必要です。

あわせて、休日の部活動の地域移行に係る指導者確保や複数の地域で実施する「合同練習会」について検討しながら取り組みます。

図表 38　スポーツの実施頻度（小・中学生）



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

＜取組＞

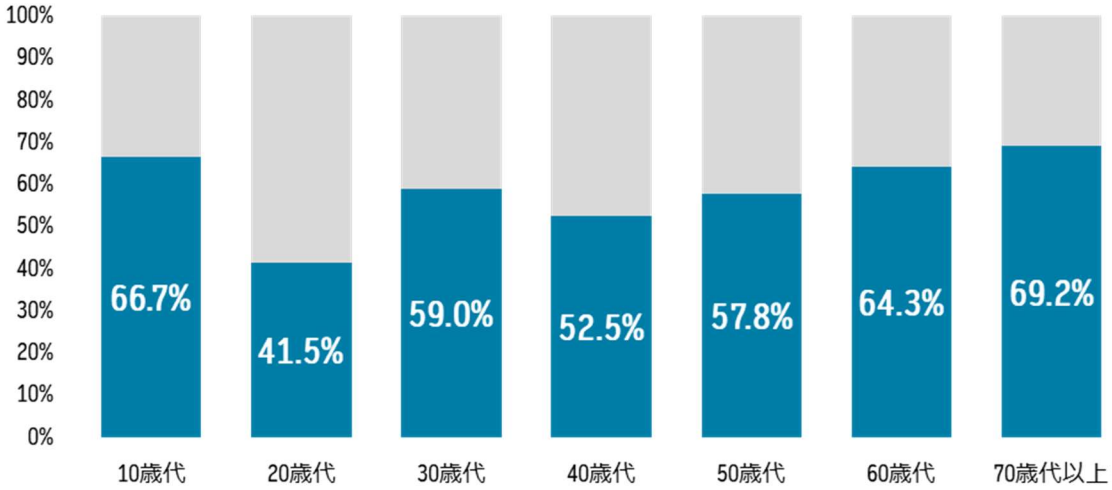
取組	主な事業及び効果
スポーツ教室、各種イベントの開催と支援	・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、スポーツ活動に対する楽しさの醸成 ・様々なスポーツが体験できるスポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、様々なスポーツを実施することによる会員数の増加
子どもの遊ぶ機会の創出による身体づくりと体力、運動能力向上の推進	・スポーツ関係団体が実施する子ども向けスポーツイベント開催支援による運動習慣の定着化
学校体育と運動部活動の充実	・部活動指導員の配置支援による運動機会の創出
スポーツボランティアの充実	・中高生を対象としたボランティア養成講座の実施【新規】 ・スポーツイベントにおけるスポーツボランティアの活用の創出及び促進【新規】
スポーツ少年団活動の推進と指導者や団体への支援	・スポーツ少年団活動の支援による青少年健全育成の推進 ・指導者養成講座の実施による指導能力の向上
スポーツ活動機会の創出	・スポーツ関係団体が開催するスポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・プロスポーツチームによる幼児を対象としたスポーツ体験教室の開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・キッズ・バラエティ教室の実施による様々なスポーツを体験する機会の創出

基本施策１-４　多様なライフスタイルにおける気軽なスポーツ参加への意識醸成

年齢別にスポーツ実施率をみると、20 歳代で特に低く、さらに、職業や家族等の属性を掛け合わせたクロス集計によると、全国的にもボトルネックとなっている働き盛り世代や子育て世代の実施率が低い傾向にあります。

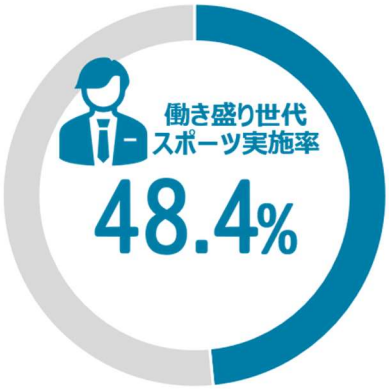
これらを鑑みても、多様なライフスタイル、とりわけ仕事や家事・育児で忙しく、時間がないことを理由にスポーツ実施に至っていない層に向け、スポーツは身近で気軽に楽しむことができる日常生活の一部という意識を醸成します。

図表 39　スポーツ実施率（年齢別）

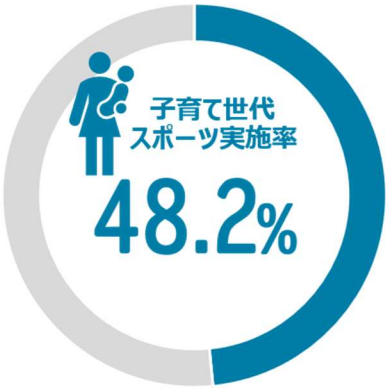


出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

図表 40　スポーツの実施率（働き盛り世代･子育て世代）



※抽出条件
年齢：20～50歳代
職業：「自営・家族従業」
「会社などの勤め」
「パート・アルバイト」



※抽出条件
年齢：20～40歳代
同居家族：「子ども」

出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツ活動、観戦、サポート機会の創出	・スポーツ施設などの紹介やスポーツイベント開催の情報発信による運動機会の創出 ・子ども向けスポーツイベント、家族が一緒に参加できるスポーツイベントを開催し、交流の場の提供 ・ビジネスパーソン向けスポーツ教室・イベントの開催し、健康への関心度の向上
スポーツボランティアの育成と活用	・スポーツボランティア活動の普及啓発【新規】 ・市民を対象としたボランティア養成講座の実施【新規】 ・スポーツイベントにおけるスポーツボランティアの活用の創出及び促進【新規】
健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】	・スポーツ関係団体が開催するスポーツイベント及びスポーツ教室の支援による地域交流の促進 ・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、スポーツ活動に対する楽しさの醸成 ・スポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、様々なスポーツを実施することによる会員数の増加 ・健康づくり教室及び健康体操教室の開催による運動習慣の定着化
スポーツ施策サービスの充実	・広告収入を活用したスポーツ施設の充実による利便性の向上 ・長寿命化計画と連動した施設管理による施設の集約と整備 ・キャッシュレス決済や利用手続の簡略化に向けた検討による利用満足度の向上【新規】

基本施策１-５　高齢者・障害者のスポーツの推進

本市の高齢者のスポーツ実施率は高い水準にありますが、より高齢者の健康維持・増進や地域での仲間づくりを支えていくため、高齢者がスポーツに親しみ、世代を越えてスポーツを楽しむ機会を提供します。

また、近年において、障害者のスポーツ機会に対する関心は高まっており、このような契機を活かし、誰もがスポーツに親しめる社会、また、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて取り組みます。

障害者スポーツの推進については、障害の種類や程度によって、必要な支援が異なりますが、現状では、障害者のスポーツ活動の実態は、継続的な調査等による推移の把握まで至っていないことから、今後、多くの障害者スポーツに携わる機会を創出します。

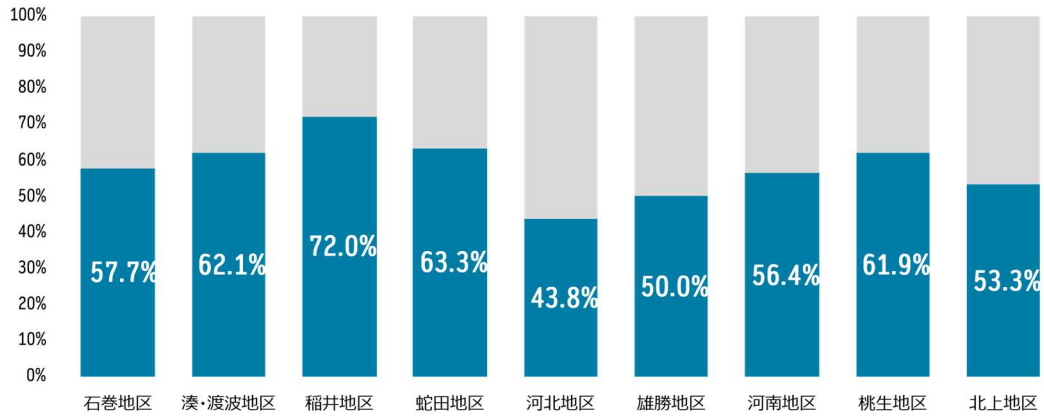
＜取組＞

取組	主な事業及び効果
健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】	・スポーツ関係団体が開催するスポーツイベント及びスポーツ教室の支援による地域交流の促進 ・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、スポーツ活動に対する楽しさの醸成 ・スポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、様々なスポーツを実施することによる会員数の増加 ・健康づくり教室及び健康体操教室の開催による運動習慣の定着化
身体活動や食事など健康づくりに関する情報の充実	・食事を通じた健康づくりについての情報発信による健康に対する関心度の向上 ・ウォーキングの推進・普及啓発による運動習慣の定着化 ・高齢者向けスポーツの普及啓発による健康づくりの推進
パラスポーツの推進	・関係団体へのヒアリングによる課題等の把握【新規】 ・児童・生徒を対象としたパラスポーツ体験の開催による障害への理解と共生の推進
障害者スポーツのボランティア育成	・ボランティア研修・養成講座の実施【新規】

基本施策１-６　スポーツに親しむ環境の整備

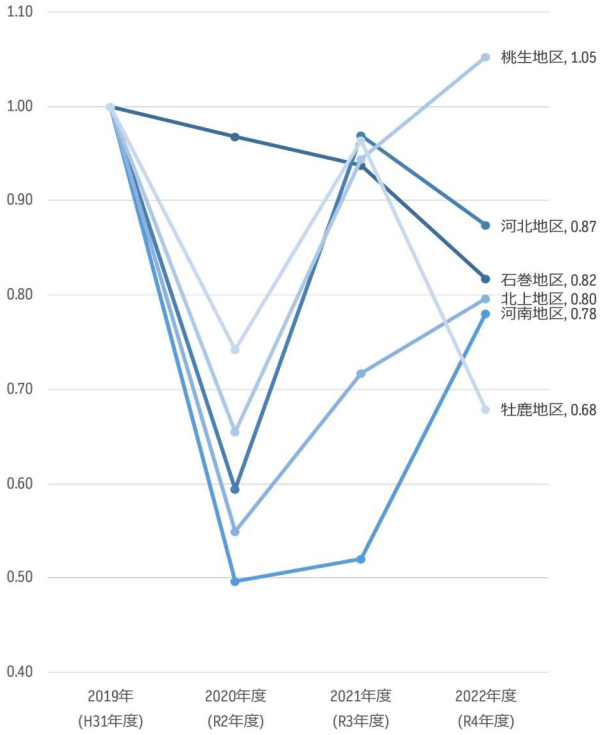
地区別のスポーツ実施率やスポーツ施設利用者数の増減率の推移をみると、地域によってスポーツを実施する環境に差異がある可能性が考えられます。スポーツ施設をより効率的かつ効果的に維持管理・運営していくために、石巻市公共施設等総合管理計画や各施設の利用実態、老朽化の状況などを踏まえ、維持保全や改修工事を計画的に実施するとともに、市民ニーズを踏まえた安全で利便性の高いスポーツ施設の整備に努めます。

図表 41　スポーツ実施率（地区別※8）



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

図表 42　スポーツ施設利用者数の増減率※9推移

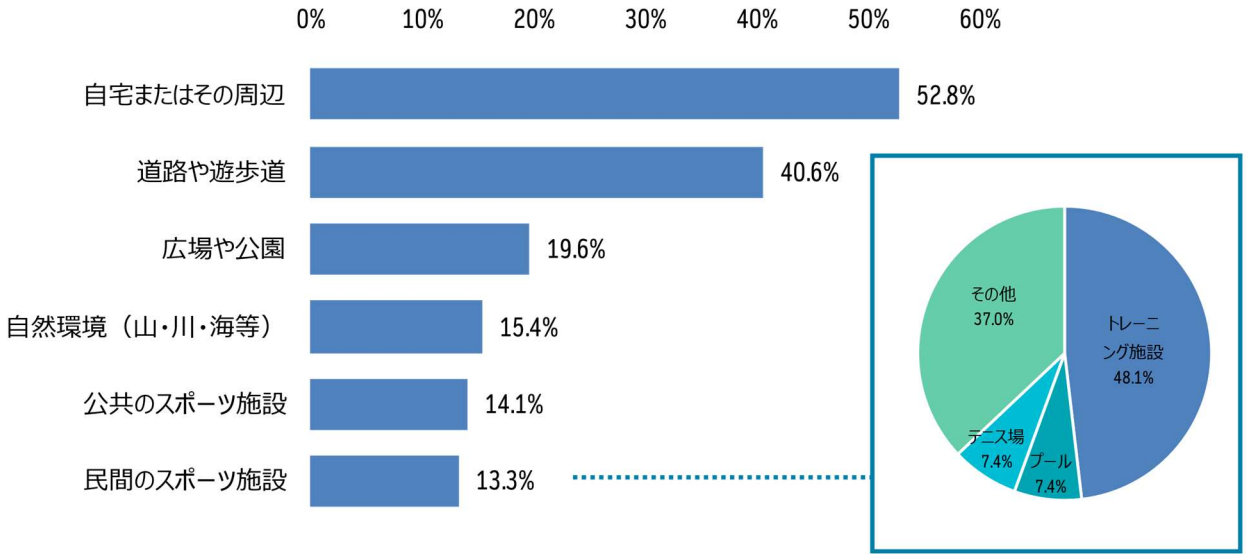


出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

※8 荻浜・田代地区及び牡鹿地区については、算出に用いる設問において、十分なサンプル数に満たないため特異値としてグラフ化していません。
※9 2019 年の施設利用者数を 1 とし、それ以降の増減を示しているもの

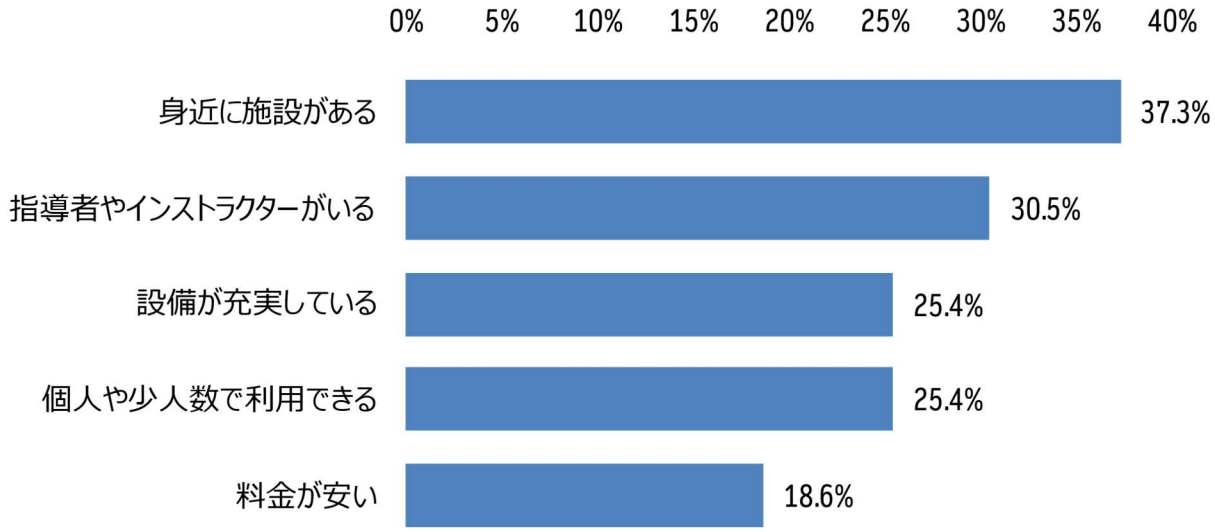
その他、社会体育施設等の公共施設だけでは供給しきれないエリアや時間帯においては、オープンスペースの活用や民間ストックとの連携により補完していくことも検討します。

図表 43　スポーツ実施の場所



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

図表 44　民間施設を利用する理由



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
施設の効果的・効率的な管理運営の推進	・指定管理者制度による民間ノウハウの活用 ・スポーツ施設などの紹介やスポーツイベント開催の情報発信による利用率の向上 ・広告収入を活用したスポーツ施設の充実による利便性の向上 ・長寿命化計画と連動した施設管理による施設の集約と整備 ・キャッシュレス決済や利用手続の簡略化に向けた検討による利用満足度の向上【新規】
石巻市スポーツ協会加盟団体への育成支援	・市民スポーツ大会の活性化に向けた支援による継続的な実施 ・地域活性化に向けた支援による地域交流の場の創出 ・スポーツ少年団活性化に向けた支援によるスポーツ活動のきっかけづくり
表彰制度の充実	・石巻市スポーツ協会・石巻市スポーツ少年団表彰式の開催によるスポーツ活動の機運醸成
スポーツ推進委員の資質向上への支援	・スポーツ活動の促進のための各種研修会の開催による指導力の向上
企業、大学等に蓄積された人材やスポーツ施設を活用するための連携・協働の推進	・包括連携企業等や石巻専修大学との連携事業の実施【新規】

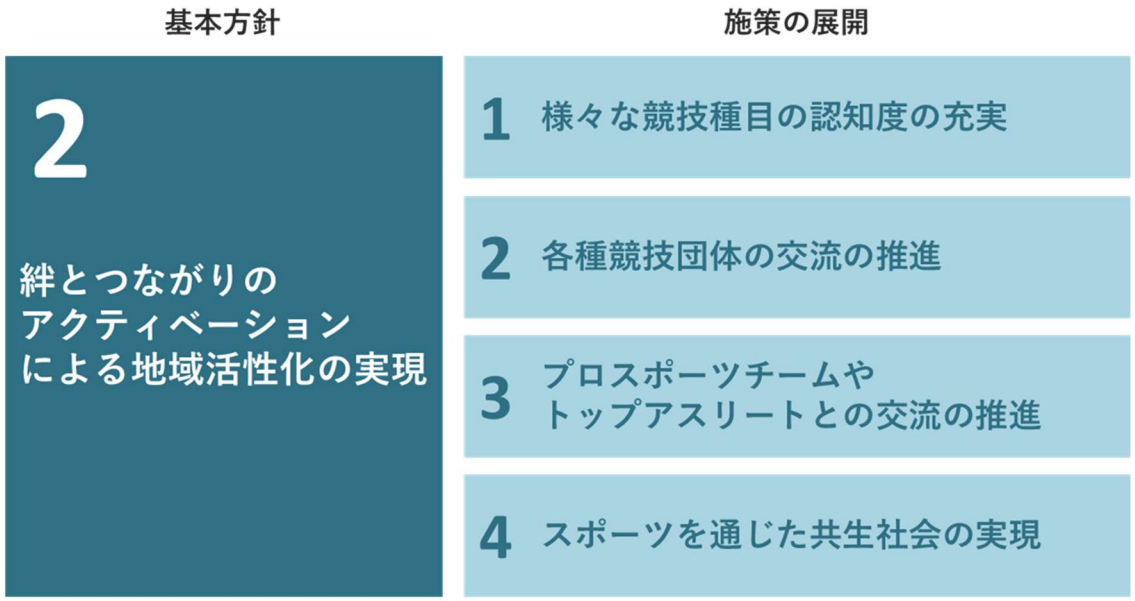
（２）絆とつながりのアクティベーションによる地域活性化の実現

スポーツを介して、地域の絆とつながりを創出し地域を活性化していくために、スポーツが従前の競技的側面のみならず、軽度な身体活動やレクリエーション等も含めた広義なものであることを周知することで、様々な競技種目の認知度の向上を図ります。

それにより、多くの市民の間でスポーツを通じた交流が活発化され、県が取り組むスポーツを通じた地域コミュニティの活性化の実践を進めるものとします。

また、国がオリパラ・レガシーの一つとして、アスリートとの交流活動を推進していることを踏まえ、本市においても、スポーツを通じた交流の呼び水として地域にゆかりのあるプロスポーツチームやトップアスリートと連携し、地域のつながりを活性化していきます。

図表 46　基本方針２に紐づく基本施策



基本施策２-１　様々な競技種目の認知度の充実

昨今、全国的に部活動の地域移行が進められる中で、子どもたちのスポーツ活動の充実において、多様なスポーツを体験させるマルチスポーツ環境の構築が重要視されています。多様なスポーツを経験することは、身体機能の向上、けがの防止に加え、社会性や協調性を育む教育的意義があると考えられています。

このような潮流を鑑み、本市においても、スポーツ実施率の向上に向け、スポーツの多様なあり方について、普及啓発するとともに、実際に体験できる機会を提供することで、様々な種目の認知度を向上させ、市民の誰もが生涯にわたって続けられる最適なスポーツを選択できるよう取り組みます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
健康教室やスポーツ教室、イベントの開催と支援【再掲】	・スポーツ関係団体が開催するスポーツイベント及びスポーツ教室の支援による地域交流の促進 ・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室を実施し、スポーツ活動に対する楽しさの醸成 ・スポーツイベントの開催によるスポーツ活動のきっかけづくり ・総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、様々なスポーツを実施することによる会員数の増加 ・健康づくり教室及び健康体操教室の開催による運動習慣の定着化
多様なスポーツの普及啓発	・様々なスポーツの魅力発信による認知度の充実
スポーツイベントの情報発信	・ホームページや SNS 等を活用したスポーツイベントの情報発信によるスポーツ活動のきっかけづくり

＜コラム：マルチスポーツとは＞

マルチスポーツとは、個人が複数のスポーツを同時期（とりわけ幼少期から青年期にかけて）に行うことで、一つの種目に限らず、多様な競技や練習環境に参加することを指し、日本ではあまり馴染みがないものの、豪州や北米等の海外では一般的なスポーツの在り方です。

マルチスポーツの意義として、以下に整理するような多角的な効果が期待されます。

スポーツサンプリング

「いろいろなスポーツを試してみる」という考え方であり、欧米諸国では1シーズン限定のチーム編成でシーズン終了後にチームを解散するのが一般的です。

そのため、希望のタイミングで興味のあるスポーツに取り組めない可能性がありますが、その分様々なスポーツをすることができます。

日本では馴染みがありませんが、スポーツの再定義が進んでいることや、人口が減少している社会での対応という側面からも、参考になる仕組みです。

運動能力の底上げ

様々なスポーツをすることで総合的な身体能力を育てることにつながり、けが等への予防効果も期待できます。

具体的には「バランス能力」、「リズム能力」、「反応能力」等の一つのスポーツを続けるだけでは取得することが難しい様々な能力を複合的に身につけることができる可能性があります。

非認知能力の育成

近年、スポーツを通じた非認知能力の育成が注目され、スポーツ体験は「自信」、「共感力」「やり抜く力」、「コミュニケーション力」等の力を身につけることに寄与するものと期待されています。

特に、コミュニケーション力などは、「一つのスポーツを続ける」やり方に比べ、人との接点が増えることが想定されることから、マルチスポーツはより効果的であると考えられます。

基本施策２-２　各種競技団体の交流の推進

マルチスポーツを進める上で、競技活動をする場所の確保や、人口減少下における競技人口や指導者人口の維持を図るため、あらゆる面で各種競技団体はこれまで以上に連携が必要な局面を迎えています。

スポーツを通じて人と人がつながる機会をさらに増やすために、各種競技団体の交流を推進します。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツを通した地域活性化に向けての大学の教育資源の活用	・石巻専修大学部活動を活用した指導者派遣の検討【新規】
石巻市スポーツ協会との連携	・指導者の育成支援による競技力の向上 ・スポーツに関する功労賞等表彰制度による活動意欲の増進

基本施策２-３　プロスポーツチームやトップアスリートとの交流の推進

協定を結ぶベガルタ仙台を始めとするトップスポーツチームやアスリート等、様々な主体と連携し、スポーツへの関心の喚起、運動するきっかけづくり、運動習慣の定着、体力や運動能力の向上に向けた取組等を実施することで、身近な地域で子どもがスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。

またパートナーシップの強化により、スポーツの振興はもとより、健康増進、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等の様々な分野で連携したまちづくりに取り組みます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
プロスポーツチーム等とスポーツ団体との連携	・プロスポーツ、トップアスリートによるスポーツ教室の実施による交流の場の創出 ・プロスポーツチーム等によるスポーツ体験教室の開催によるスポーツ活動のきっかけづくり

＜コラム：スポーツ交流活動等に関する協定＞

【背景】
　東日本大震災をきっかけとして、協定企業による復興支援事業を実施してきましたが、スポーツによる交流活動についてより一層力を入れていくために、スポーツの振興や健康増進、青少年の健全育成を図るために各協定を締結しました。
　協定締結により、双方が持つ人材、知識、情報などの資源を有効に活用することで、スポーツ文化の振興をはじめ、スポーツを通じた健康増進や青少年の健全育成を図るとともに、地域の活性化に寄与することが期待されます。

【目的】
　復興支援から復興後の次のステージに向かった連携・協力を行うため、新たに協定を締結するもの。

【協定企業】
(1)　株式会社楽天野球団　　締結日：2017 年(平成 29 年)12 月 16 日
(2)　株式会社ベガルタ仙台　　締結日：2022 年(令和 4 年)　3 月 18 日
(3)　株式会社マイナビフットボールクラブ　締結日：2022 年(令和 4 年)　3 月 29 日

【連携事項】
(1)　スポーツ振興に関すること。
(2)　健康増進に関すること。
(3)　青少年の健全育成に関すること。
(4)　その他目的を達成するために必要な事業に関すること。

基本施策２-４　スポーツを通じた共生社会の実現

基本施策１-５において、障害者のスポーツ推進について触れていますが、障害者の方々は、障害者人口が少ないことや、障害の種類や程度が多岐にわたることから、学生年代以降の運動コミュニティの維持が特に課題と言われています。だからこそ、障害者同士のみならず、健常者と障害者がスポーツを楽しむことのできるインクルーシブスポーツへの理解が必要です。このようなインクルーシブスポーツを通じて社会参画を促すことが、共生社会の実現につながります。

また、本市の課題でもある働き盛り世代や子育て世代のスポーツ誘導においても、家族と過ごす時間が動機付けになることから、スポーツを通じた世代間交流を促進します。

その他、日本では、外国人労働者が急増しており、日常生活における接点が少ないことにより、地域のコミュニティに溶け込めず孤立するといった問題が全国で顕在化しています。そこでスポーツを通じた多文化交流を実施し、地域全体で国際感覚や文化への理解を深めてもらうとともに、本市で暮らす技能実習生などの外国人の方々が、今後も安心して石巻市民の一員として過ごせるよう取り組みます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
障害の有無に関わらないスポーツ交流の推進	・パラスポーツ体験事業等の推進による障害への理解と共生の推進
スポーツによる世代間交流の促進	・スポーツ関係団体が実施するスポーツ教室支援による交流活動の推進 ・スポーツイベントの開催支援による交流の場の創出 ・健康づくり教室及び健康体操教室の開催による運動習慣の定着化
スポーツを通じた多文化共生の普及	・市内在住の外国人との交流事業の検討【新規】

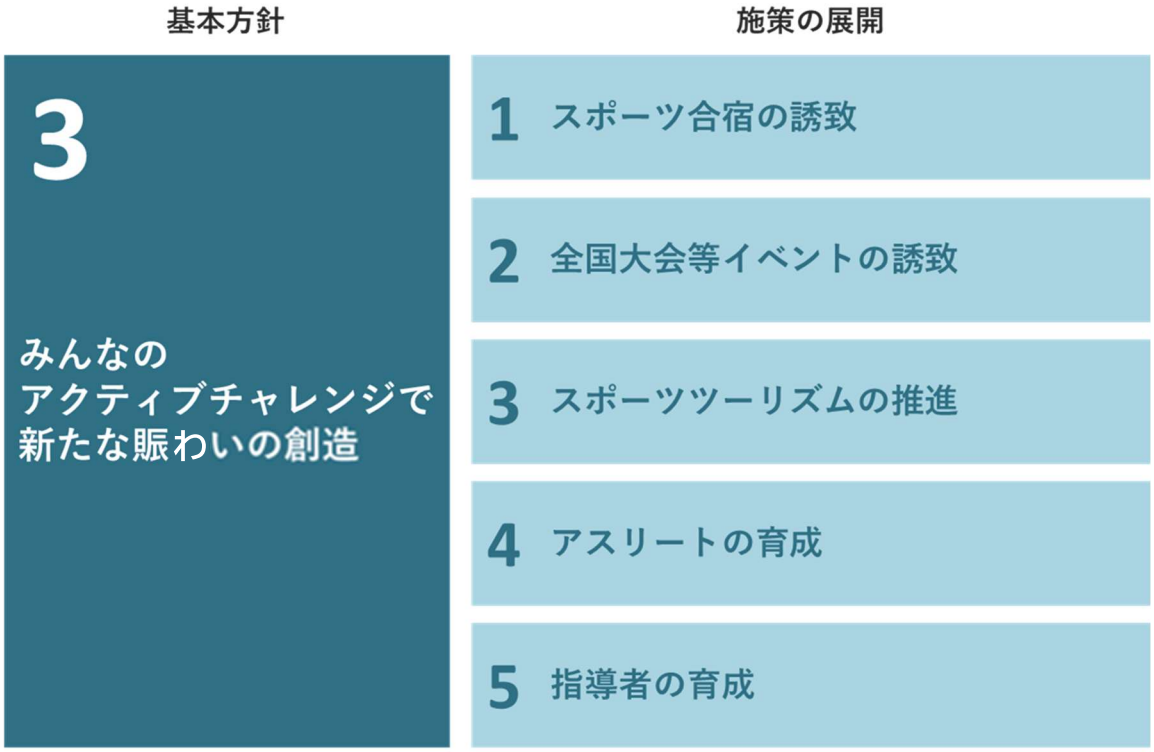
（3）みんなのアクティブチャレンジで新たな賑わいの創造

スポーツによる地方創生を進めていく上で、スポーツ合宿や大会の誘致をはじめとした競技スポーツや、スポーツイベントやアウトドア体験をきっかけとした訪問等、多様なスポーツツーリズムの推進を図ります。

国では、多様な主体が参加できるよう、これまでのルールや仕組みにとらわれず、柔軟にスポーツをつくるとしており、また、国際競技力の向上や、そのための指導者の育成を推進することで、スポーツを育んでいくこととしています。

本市においてもこれらを踏まえ、ニュースポーツの推進等によりスポーツの間口を広げるとともに、アスリートや指導者の育成によりスポーツの水準を高めていくことで、スポーツ未来を創ります。

図表 47　基本方針 3 に紐づく基本施策



基本施策３-１　スポーツ合宿の誘致

石巻市総合運動公園を始めとする市内のスポーツ施設や宿泊先等の情報発信に努め、いしのまきスポーツコミッション等の関係団体が行うスポーツ合宿受入れの取組を支援します。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツ合宿の誘致	・スポーツ関係団体への支援による交流人口の拡大
合宿受入環境の情報発信	・合宿開催に伴う会場及び宿泊先の調整による利便性向上の支援 ・スポーツ施設などの情報発信による認知度の向上

基本施策３-２　全国大会等イベントの誘致

いしのまきスポーツコミッション等の関係団体との連携により、いしのまき復興マラソンやツール・ド・東北等の大規模スポーツイベントを継続的に開催していくとともに、各種競技団体のスポーツイベント等の積極的な誘致・開催を協働して推進します。

誘致においては、誰もが知っているスポーツのみならず、モルックやアルティメットのようなニュースポーツ等、知名度の低いスポーツについても積極的に誘致を図っていきます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
各種スポーツ大会の誘致	・スポーツ関係団体との連携による新たな賑いの創出
大規模大会の継続開催	・いしのまき復興マラソンの開催による交流人口の増加 ・ツール・ド・東北の開催による交流人口の増加
スポーツボランティアの育成と活用【再掲】	・スポーツボランティア活動の普及啓発【新規】 ・市民を対象としたボランティア養成講座の実施【新規】 ・スポーツイベントにおけるスポーツボランティアの活用の創出及び促進【新規】

基本施策３-３　スポーツツーリズムの推進

スポーツと地域の魅力を掛け合わせたツーリズムを推進し、本市を訪れた大会参加者や観戦者の宿泊、食事、観光、物販等の消費につながるような効果的な情報発信や取組を通じて、大会の開催による経済効果を高めるとともに地域の活性化を目指します。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツツーリズムコンテンツの創出	・スポーツ関係団体へのイベント開催支援による地域の活性化
全国規模のスポーツ大会の誘致による地域の活性化	・スポーツ関係団体との連携及びイベント開催支援による新たな賑いの創出
スポーツの情報発信と観光との連携	・スポーツイベント及び観光情報の周知を実施し、地域の魅力を発信

基本施策３-４　アスリートの育成

各種スポーツの普及や、競技者の競技力及びインテグリティの向上を図ることができる指導者を育成するため、市内のスポーツ団体を統括する石巻市スポーツ協会の各種活動を支援し、連携事業を検討します。

また、スポーツによるけがや病気を防ぐために、スポーツ障害予防に関する講演会を誘致・開催することでアスリートの継続的な競技活動を支援し、練習や大会で使用する公共施設についても、適正な管理及び安全対策を実施し、アスリート育成・活動における安全性についても最大限配慮します。

加えて、本市にゆかりのあるアスリートや全国大会等出場者の情報を発信し、スポーツへの興味や関心の喚起につなげていきます。

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
スポーツ大会参加の推進	・全国大会等出場者への支援によるスポーツ活動の推進
アスリートを支える体制の確立	・石巻市スポーツ協会との連携による環境の整備 ・アスリート情報の発信による活動支援
スポーツ障害予防の推進	・情報発信による関心度の向上
競技活動を支える施設の整備	・指定管理者制度による民間ノウハウの活用 ・スポーツ施設などの紹介やスポーツイベント開催の情報発信による利用率の向上 ・広告収入を活用したスポーツ施設の充実による利便性の向上 ・長寿命化計画と連動した施設管理による施設の集約と整備 ・キャッシュレス決済や利用手続きの簡略化に向けた検討による利用満足度の増加【新規】

基本施策３-５　指導者の育成

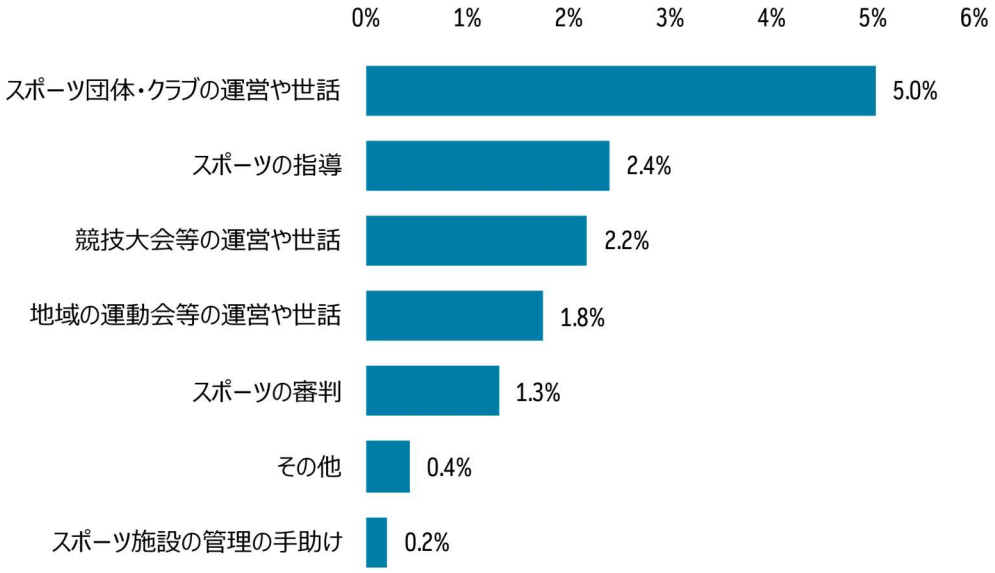
スポーツボランティアの参画状況をみても、団体運営等と比べると、指導や審判技術を伴う関与のハードルが高い傾向にあります。

そこで、スポーツ指導者のスポーツ指導に関する基礎的な知識・技能の習得を支援するとともに、体罰や暴力、その他不適切指導の根絶に向けた研修などを実施することで、スポーツ・インテグリティの確保に取り組みます。

また、地域スポーツの中核的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修の受講等、活動の活性化に向けて取り組みます。

学校部活動の地域連携・地域移行に関しては、関係部署による協議会等を通じて課題を整理し、地域の実情に応じた対応を図ります。

図表 48　参画したスポーツボランティアの種類



出典：石巻市民のスポーツに関する実態把握のための市民アンケート調査（R5 市スポーツ振興課）

＜取組＞

取組	主な事業及び効果
優れた指導力を持った指導者の養成・確保	・指導者養成講座の開催による技術力の向上 ・スポーツ少年団等への支援による指導者の確保
地域のスポーツ指導者との連携	・スポーツ推進委員の資質向上を目指し、研修等による活動の活発化
スポーツの情報ネットワークの整備と充実	・指導者等の人材バンク制度の検討【新規】